



シュンデンタルタイムズ 1・2

2025

\あけましておめでとうございます。/

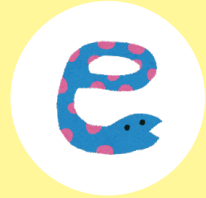
乙巳 (きのと・み) 2025年も幕開けしました。

本年もシュンデンタルクリニックをよろしくお願いたします。

今年は、終戦80年の節目の年です。時が経つのは早いものです。

世界では依然として、戦禍に苦しんでいる人がたくさんいます。

なんとか、みんなハッピーになるよう終結してほしいと願うばかりです。



前回の乙巳(1965年・昭和40年)にはどんなことがあったか振り返ると、「オロナミンC」の発売、プロ野球の第一回ドラフト会議が行われるなど、今日まで続くものたくさんあります。

歯科の分野ではどうだったのでしょうか？

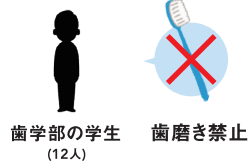
1965年にデンマークのハロルド・ロー教授が、プラーク(歯垢、細菌の塊)の堆積と歯肉炎との直接的関係を“ヒト”で証明しました。その内容は、**歯学部の学生12人に一切歯磨きをさせない**という、現在では、社会問題になるような学生へのとんでもない実験指示です。

その結果、2日間で、バイオフィルム(細菌の集合体)が形成され、3~4日でバイオフィルムの厚さが大きくなり、20日後には全員が歯肉炎を発症しました。

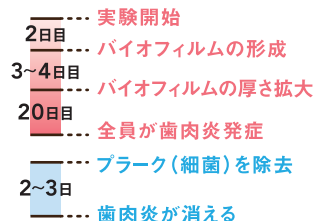
20日間も歯磨きをせずに、先生の指示に従った、歯学部の学生はさぞ辛かったことでしょう。「口臭はどうだったろう?」などと、余計なことも考えてしまいます(笑)

全員が歯肉炎になったところで歯磨きをし、**プラーク(細菌)を除去したところ、2~3日で歯肉炎が消えた**ことを確認したのです。

実験内容



結果



この実験により以下のことがわかったのです。

- ① 「歯肉炎の原因はプラークである」こと
- ② 「歯肉炎の段階であればプラークを除去することで健康な状態に戻せる」こと

この実験以降、スウェーデンの歯周病学の世界的権威である、イエテボリ大学のヤン・リンデ教授も「歯周病の治療では、原因であるプラークをコントロールすることがもっとも大切である」と説いています。また、「すぐにオペをするのではなく、原因を除去することから始めなければいけない」と説き、**正にシュンデンタルクリニックの基本理念に結びつく**わけです。

学生における歯磨きをしない努力が、オーラルケアの礎になった1965年。この年も今年と同じ、**乙巳**でした。今年も、患者さま一人ひとりのブラッシングが、未来のオーラルケアの礎になる年かもしれません。**未来の皆さまの口腔環境に良い礎を残す年**にしてみましょう！
まさに、「歴史は繰り返す」。
良い歴史はしっかり繰り返していききたいものです。



発行サイクルの変更について



患者さま皆さまのご声援に支えられながら、2019年2月より毎月シュンデンタルタイムズを発行してまいりました。昨年12月で、71号を発行し、発行部数も年々増販させていただいております。ひとえに患者さまがきちんと通ってくださることの裏付けであると、感謝しかありません。

通院のタイミングなどで、「シュンデンタルタイムズもらえなかった。」「孤独のグルメ今月もないの?」など、患者さまのご意見を受け止めながら、HPへのバックナンバーの掲載。LINEにての配信などを行わせていただきました。現在は、LINEの登録者が2000人まで膨れ上がり、LINEで読んでいただいている方も数多くいらっしゃると思います。

記事の内容制作にも時間を費やしてきましたが・・・

「申し訳ございません。」なかなか納得のいく題材がないまま発行したくないという思いもあり、発行の間隔を2ヶ月に1度の隔月に変更させていただこうと思います。

シュンデンタルタイムズを楽しみにいただいている患者さまには新年早々申し訳ございませんが、患者さま皆さまに楽しんでいただき、歯科医療について理解を深めてもらうための変更となります。

引き続き発行を楽しみにお待ちしております。嬉しく思います。

何卒、ご理解のほど、宜しくお願い申し上げます。

シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>